



# 給食だより

平成 29 年度 5 月号 No. 2

## 絵本から飛び出したおやつ



～あらすじ～

そらまめくんにとって、ふわふわのベッドは宝物です。だからだれにも貸したくありません。ところが、そのベッドが突然なくなってしまったのです。必死にさがしますが、なかなか見つかりません。やっと見つけると、その上には、なんと…? という愉快なそらまめくんのお話です。

今年度も絵本から飛び出したおやつを始めました。この絵本の中には、そら豆以外の豆たちも登場します。「そら豆は、どれかなあ？」という質問に「一番大きいやつ。」と答える子どもたち。「では、実際のそら豆は、どれくらいの大きさだと思う？」と聞くと、すごく小さかったり、大きかったりとさまざまな答えが返ってきました。どのクラスも、実際にそら豆を触り、「フカフカで気持ちい～。」や匂いを嗅いだりして、「ちょっと、臭いね。」と言いながらも、豆独特の匂いを感じる事ができていました。あるクラスのそら豆のさやに、大きいそら豆と小さなそら豆が入っており、「小さい方は、今から大きくなるとよね？」と先生に聞き、興味津々で見たり触ったりして良い体験が出来ました。

今回は、0歳児さんも参加してもらいました。読み聞かせるには、長い絵本なので絵だけを見て楽しんでもらい、そら豆も実際に触ってみると、不思議そうな表情で、触り心地を楽しんでいるようでした。



## ～今月から年長児さん食育がスタートしました～

第1回目の食育は、食事のマナーについてと正しい椅子の座り方をしました。座り方の方は、毎日立腰をしており、上手に出来ているので確認のため、お手本を見せて終わりました。食事のマナーについては、子どもたちに「いつもみんなは、どんな姿勢でご飯を食べていますか？」と聞くと、「お茶碗持って。」や「肘を付かない。」などの答えが返ってきました。「本当にみんなは、さっき言ったこと守れているかな？」という質問をしたところ、「お皿を持たないで、食べているお友達がいる。」という答えが返ってきました。みんなどういう姿勢で食べたら良いかは、分かってはいましたが、給食の時間に食べている姿勢を見ると、茶碗は持てていても間違った持ち方や肘を付いて持っている子がたくさん見受けられました。食事のマナーについては、今後も保育園の方でも行いますが、ご家庭でもご協力をお願いします。

### 正しい食べ方と座り方のお手本



第2回目の食育は、スペシャルゲスト（園長先生）を迎え、今回は、特別に年中児さんも参加してもらい、『魚の解体ショー』を行いました。魚は、鯛（全長約60cm）を準備し園長先生自ら解体をしてもらいました。

まず、初めに、「この魚は、何という魚でしょう？」の質問に、半分近く子どもたちが、「たい！」と大きな声で答え、子どもたちが魚の名前を知っていた事に驚きでした。また、「お魚の解体ショーを見た事ある人？」と聞くと、「お店で見た！」や「お父さんが、家でしていた。」など見たことある子がたくさんいました。

解体ショーが始まり、頭が切り落とされると、「うわぁー！大きか。」と子どもたちは、興味津々で真剣な表情で見っていました。3枚おろし、切り身までになると、塩焼きにしてみんなで“味見タイム”をしました。天然で焼きたての魚は、フワフワして「美味しい！」の連続でした。「頭や骨も、お汁にして食べられるので、魚って捨てる所がないね！」と言って、解体ショーが終了しました。アラの方は、次の日お吸い物にしてみんなで頂きました。

